

マンションを使って筆算を解こう

単 元	たし算とひき算のひっ算	対象学年	2 年
ね ら い	繰り上がりや繰り下がりの処理を通して、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。		

1 準備するもの

教師：筆算マンション（A3サイズ）

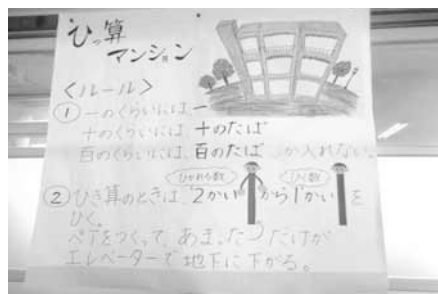
児童：数え棒

2 学習のしかた

- (1) たし算、ひき算の筆算をするときの位取り板をマンションに例えて、正しく筆算ができるようにする。
- (2) たされる数、ひかれる数を書くところを2階、たす数、ひく数を書くところを1階、答えを書くところを地下と名前を付けて、記入する場所を意識付ける。
- (3) 2階、1階に数え棒を置く。
- (4) たし算の計算をする場合は、2階と1階の数え棒を、エレベーターで下におろすというイメージで、地下におろしていく。
- (5) ひき算の計算をする場合は、2階と1階でペアをつくり、余った2階の数え棒のみを地下へおろす。ペアができないときは、隣の位の部屋から数え棒を移動させる。十の位から1つ減らし、一の位では10増やす。

3 学習上の留意点

- ・繰り上がりや繰り下がりをイメージしやすくするために、一の位の部屋には一、十の位の部屋には十の束しか入れないというルールを作っておく。
- ・たし算は「エレベーター」で地下へ集めていくイメージをつくる。ひき算では、ペアを作り、余った「2階」の数え棒のみ「地下」へおろすというルールで、お互いに確認しながら行うとよい。



4 学習の効果

- ・空位のある数の計算や、桁数の違う数の計算のときも、位をそろえて書くことができるようになる。
- ・10集まったら、隣の位の部屋に引っ越しする＝1繰り上がるということがイメージしやすく